

2009年度

科目名	日本の歌謡B				
担当教員	佐々木 聖佳				
配当	文 2・教育2・人間2			コード	22240
開期	後期	講時	火曜日2限	単位数	2
授業テーマ	歌謡文芸に親しむ				
目的と概要	この講義は、国文学の立場から、日本に古代から伝わる歌謡を取り上げ、時代的な背景や歌の発想、表現などの諸問題について講じる。多くの人の心をとらえ口ずさまれてきた歌謡には、その時代の人々の感情や感覚が文芸として昇華された、優れたものが多い。古代から近代までの歌謡について、詞章面からそのよさ、おもしろさを味わい、現代にも通じる歌の力について考えていくことを目的とする。なお、「日本の歌謡B」では、室町時代から現代までの歌謡について講じる。				
成績評価法	後期末レポート・平常点・講義時の小レポートを総合的に評価する。				
テキスト	テキストは用いず、毎時間プリントを配布して講じる。				
参考書	必要に応じて、講義の中で紹介する。				
履修に当たっての注意・助言	古典文学の講義であるので、古文を読むことが多々あります。				
講義計画					
第1回 作詞にチャレンジ 第2回 狂言歌謡(1) 狂言の魅力1 第3回 狂言歌謡(2) 狂言の魅力2 第4回 狂言歌謡(3) 狂言「靱猿」と流行歌 第5回 狂言歌謡(4) 狂言「棒縛」の酒宴歌 第6回 室町小歌(1) 室町小歌とその時代 第7回 室町小歌(2) 『閑吟集』の歌1 第8回 室町小歌(3) 『閑吟集』の歌2 第9回 室町小歌(4) 『閑吟集』の歌3 第10回 子供の歌(1) 二つの子守歌 第11回 子供の歌(2) マザーグースとわらべ歌 第12回 子供の歌(3) 近代唱歌 第13回 替え歌 第14回 世界の中の日本の歌 第15回 まとめ一歌の力について考える					